

# 「地球に感謝の植林」にご協力ありがとうございます

2013年12月現在

NPO アジア植林友好協会ご報告



## 緑ゆたかな地球を次世代に！

### いのち 生命の森づくり

～いまを生き未来につなぐ活動～



あらゆる生命の源としての「熱帯雨林の修復」(エコロジー)と人類の社会経済活動をつづけるための森～「生活の森づくり」(エコノミー)を現場の立地条件の違いを組み合わせ、2か所に1本ずつ合計2本同時に実行するシステムで推進しています。

### ■たくさんの個人や企業の皆様の深いご理解とご参加により

## 26,710本・森林修復面積 427,100 平方メートルを達成！

2003年開始から2012年2月末までに13,353セット、合計本数=26,710本の植林を実行できました。  
修復された草原は160,000㎡、荒廃した二次林の修復は267,100㎡、合計面積=427,100㎡  
(約129,424坪)=東京ドーム約9個分を達成できました。

### ※社会経済の森再生～コミュニティ林～

人間が何もしなければ50年以上も破壊されたままで、自然の回復しない荒れ果てた草原に陽光と乾燥に強い「陽樹」チークを植林します。植林したチークは、成長過程でCO2を吸収固定し続けます。そして、生活のために木材を伐らなければならない地元の人たちの生計を支える林業を育成します。



左から2000年植林前の草原・2013年11月の新植林地・右=草原の現在ここまで回復

伐採の繰り返しと移動焼き畑の繰り返しで、草原になりその後の山火事でさらに傷つき虫も鳥もいない不気味な静寂の世界が、今では虫も鳥も復活して、自然の息吹が感じられる状況になってきています。隣はパームオイルのプランテーションになり、何もしない所は今も草原のままです。

### ※熱帯雨林修復の森づくり

天然の熱帯雨林の主木を伐採されて、種子を落とす在来樹種の母樹もなく、森のバランスが崩れて徐々に壊れて、天然林の再生が不可能になっている森林には「陰樹」で将来主木に育つ地場の樹種を植林して、熱帯雨林の再生を目指します。



壊れた熱帯雨林



二次林内をゆく



二次林の中で樹下植林1年目



11年目でここまで育った

### ～「自然の力」「継続はチカラ」の証明～★100年後までも生命の持続を担保

「生命の森づくり」は、チークと在来樹種の2本をセットで実行します。地場の樹種は永久の森として保全します。チークは10年毎に利用し、次の植林費用をねん出します。

2倍2倍の植林を10回繰り返しますと100年後には2本1セットが合計で3071本、52,291㎡の森になります。

CO2を吸収して、動物の生命維持に必要な酸素を放出し、水や大気の循環そして気候の安定に貢献します。